

令和3年11月8日

東京都知事

小池 百合子 様

一般社団法人 大田市場協会

会 長 川 田 一 光

令和4年度 東京都の施策及び予算に対する要望

大田市場は、我が国随一の総合市場に成長・発展し、多くの消費者の暮らしを支えています。大田市場の事業者は、新型コロナウイルス感染が拡大する中でも、社会生活上必要不可欠なインフラとしての市場機能を維持し、新鮮な野菜、果物、水産物、そして花きを、都民、首都圏さらに全国の消費者へ途切れることなく供給するため、鋭意取り組んできているところです。

ウィズコロナ、ポストコロナの時代にあっても、大田市場がこれまで以上に発展し、消費者に安全・安心な生鮮食料品等を供給していけるよう、これまで以上に産地、消費者との信頼を高めていける新たなネットワークづくりを進めていきたいと考えております。

中央卸売市場の社会的責任を今後も果たしていくには、私ども自身の努力はもとよりですが、開設者である東京都によるご支援・ご協力がぜひとも必要です。大田市場が今後とも暮らしを支える基幹市場として発展していけるよう、特に下記の点について、よろしくお願い申し上げます。

記

1 ウィズコロナ、ポストコロナ時代の取引を支える基盤づくりへの支援

大田市場では、新型コロナウイルス感染拡大を契機に、テレワークの推進、産地とのオンライン会議、リモートを活用したイベントの実施など、対面を避けた取引の拡大などに取り組み、事業の継続に努めています。

現在これまで培ってきた産地との信頼をより確かなものにしていくため、デジタル技術などを活用し、直接の接触を極力避けた新たなネットワークの

構築を進めております。ポストコロナの時代に向け、新たなネットワークのインフラとなる、低廉な高速通信網やアクセスしやすいWi-Fi環境など、安定的かつ安全な通信基盤の整備に向けた取組みをお願いします。

2 市場用地・施設の効果的利用と場内用地の適正な利用

大田市場青果部の取扱量は計画の125%となっており、今後も増加を続けると予測されています。新たな成長に向けた取組みを進めるには、市場用地と施設の効果的利用が必要です。市場関係者の意見を十分に反映して、検討を進めていただくようお願いします。

大田市場は、青果等の取扱量の増加に伴い、場内が極度に混雑しており、交通渋滞や二重・三重駐車による通行障害が生じ、事故が多発しております。

また、廃棄物の不法投棄も頻発しており、盗難等も発生しています。

市場の本来機能を発揮して円滑に業務を遂行できるよう、監視体制を強化するとともに、不法駐車防止、周回道路の適正な利用のためのルール作りなど、適正利用と利用可能スペースの確保を図ってください。

場内の駐車場不足が深刻であり、新たな駐車場確保をご検討ください。

3 施設・設備の計画的な修繕・改修と市場全体のクリーンアップ

大田市場は開設から30年以上が経過し、場全体で計画的な対応が必要になっています。ここ数年大規模な補修に取り組んでいただいておりますが、必要な改修箇所は数多く残っており、引き続き計画的な対応を進めていただけるようお願いします。

日常清掃では対応できない長年の汚れも目立つため、衛生管理の観点からも、市場全体のクリーンアップをさらに進めてください。

4 新型コロナウイルス感染拡大防止に十分配慮した経済対策の実施

新型コロナウイルス流行はまもなく2年に及ぼうとしており、飲食店等とこれらを顧客とする市場関係者にも大きな影響が続いています。感染が抑制されつつある今、経済の活性化に向けた対策を早急に進めていただきますようお願いします。

経済対策の実施に当たっては、再び大規模な感染拡大を招くことのないよう、感染拡大防止に十分な配慮をお願いします。